



四年ぶりに総会開催を

役員会決める

塩出 栄(RNB)

四国民放クラブ役員会は1月30日(月)、南海放送で開かれました。

コロナ禍で3年度見送られてきた総会を開催するか等を中心議題に協議しました。

その結果、次のように決まりました。

○総会を4月11日(火)に松山市道後の「にぎたつ会館」で開催

○総会終了後懇親会も催す

○翌12日には道後ゴルフクラブでゴルフ会を開き旧交を温める

○休会になっていた「空海部会」を今年秋に復活させ、会員全員に案内、参加を呼び掛ける

なお、コロナ禍でクラブの活動が休眠状態であったため、財政に若干の余裕があり、令和5年度の会費は徴収しないことになりました。



総会の開催を決めた四国民放クラブ役員会

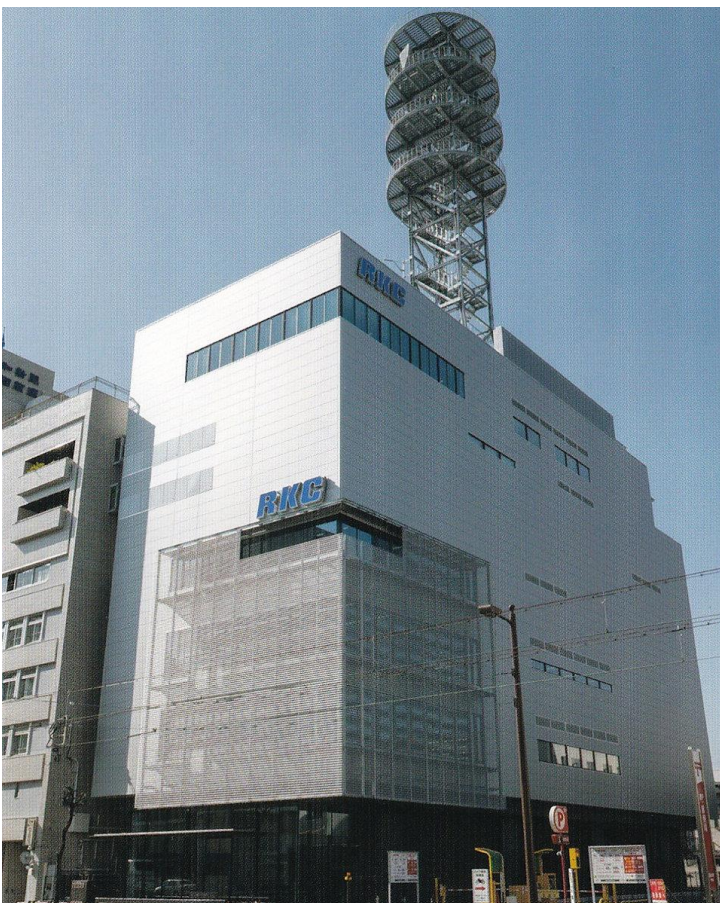
69年ぶりの新社屋

上村 基(RKC)

高知放送は、1953年にラジオ局としてスタートしている。テレビ開局は6年後、1959年の皇太子ご成婚パレードに合わせたの仕事を始めだった。以来、親会社との小改築はあったが、単独での全面改築は今回が初めてである。

昨年暮れ、40名近いOBが招かれて新社屋を見学した。

9階建ての社屋は、南海地震対策を想定して放送設備は3階以上とするなどの配慮がなされ



高知放送の新社屋

ていた。取材カメラの編集ブースなども並列で数部屋あるなど、緊急時の速報体制が整えられていた。

開局当初からラジオ勤務が長かった筆者が嬉しかったのは、新ラジオブースの出来栄えだった。高知市の中心部を貫く直線道路に沿って、スタジオの窓から生中継が可能な設定になっていたからだ。よさこい祭りだろうが、マフソン中継だろうが、なんでも

来いだ。

しつとりとした姿の高知城を映しこむ毎日のお天気カメラも高知らしさが出ている。

災害県の高知である。穏やかな日ばかりではないはずだ。ともあれ、よこそこんな新館を生み出してくれたと、一人のOBとして後輩に感謝し、エールを送る。